

平成 28 年度第 1 回 青梅市健康増進計画推進会議要録（概要版）

- 1 日時 平成 28 年 12 月 14 日（水） 午後 1 時 30 分から午後 3 時
- 2 場所 健康センター 1 階 相談・指導室
- 3 出席委員
大木委員、江本委員、本間委員、岩浪委員、小林委員、菊池委員、高橋委員、
吉澤委員、石上委員
- 4 傍聴者 0 人
- 5 議事
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状の交付
 - (3) あいさつ
 - (4) 自己紹介
 - (5) 議題
青梅市健康増進計画推進会議にもとづく平成 27 年度各課取組状況調査について
青梅市健康増進計画の分野 3 「休養・こころの健康」について
青梅市健康増進計画に関する今後のスケジュールについて
その他
- 6 その他
- 7 閉会

資料一覧

- ・資料 1 …平成 28 年度第 1 回青梅市健康増進計画推進会議次第
- ・資料 2 …青梅市健康増進計画推進会議設置要綱
- ・資料 3 …青梅市健康増進計画推進会議委員名簿
- ・資料 4 …第 3 次青梅市健康増進計画における平成 27 年度各課取組状況一覧
- ・資料 4-2 …取組状況調査記入例
- ・資料 5 …新たな自殺対策大綱の在り方に関する検討会審議会資料
- ・資料 6 …健康増進計画庁内連絡会議設置要綱
- ・資料 7 …健康増進計画庁内連絡会議委員名簿
- ・追加資料①…評価別、分野別件数一覧
- ・追加資料②…第 3 次青梅市健康増進計画における今後のスケジュール（案）

8 議事内容（概要）

発言者	会議概要
事務局	<p>(1) 開会 ただ今から、平成28年度第1回青梅市健康増進計画推進会議を開催いたします。</p>
副市長	<p>(2) 委嘱状の交付 (3) あいさつ (4) 自己紹介</p>
会長	<p>(5) 議題 この会議は公開となっております。しかし本日は傍聴希望者がおりませんので、早速、議題に入らせていただきたいと思います。 それでは、「青梅市健康増進計画にもとづく平成27年度各課取組状況調査について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●資料4、4-2、追加資料①による説明</p>
委員	<p>評価の基準が分かりにくいです。「何件のうち何件実施した」という基準で評価しないと、客観的に見ても評価の内容がわからないので、改善してしていくことが大事だと思います。</p>
会長	<p>評価の方法に関しては、以前から根拠が共有しにくいという意見が出ていましたね。</p>
事務局	<p>今回の調査から、客観的に評価が分かるように評価方法を変更しました。しかし、細かい内容について、十分に理解されていない部分もあるので、今後、数値目標を入れて客観的な判断ができるよう担当課と調整していきます。</p>
会長	<p>評価の仕方は難しいところがありますね。計画の段階で目標数値が定まっていないと、終わった後に評価することはできないと思います。本計画においても、平成31年度までの数値目標は記載されていないので、単年度目標についてはなるべく数値目標を設定し、この会議のなかで報告していただきたいと思います。</p>

事務局	<p>次に評価する際には、今年度の取組み内容が目標値の参考になってくるので、そこと比較して評価をしてもらいたいと事務局としては考えています。頂いたご意見を参考として、今後調整していきます。</p>
会長	<p>今回出された実績数については、アウトプットとして捉えることにはなりますが、成果であるアウトカムの評価を単年ですることは難しいと思います。実績数については引き続き把握してもらいたいが、5年間のうちの中間評価年には、市民の方への調査を実施する等、アウトカムの把握をした方が良いでしょう。</p> <p>続いて、各分野の取組み内容について御意見等を伺います。</p> <p>～分野1「食生活」について～</p> <p>(意見なし)</p> <p>～分野2「身体活動(運動・生活活動)」について～</p>
会長	<p>「おうめふらっとふらっとミニマップ」とはどのような物ですか。</p>
事務局	<p>青梅市内の観光地とウォーキングコースが記載されたマップです。観光を楽しみながらウォーキングをしていただくことができる内容となっております。</p>
委員	<p>No. 18, 19, 20のように、同じ取組み内容なのに担当課が分かれているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>取組み自体は同じですが、担当課にそれぞれ調査を実施したため、担当課ごとに評価を記載しております。</p>
委員	<p>同じ取組みを行っているにも関わらず、担当課によって評価がバラバラなのはおかしいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>関係部署の間で連携していくことが必要なので、複数の部署が連携している取組みについては、事前に協議して評価を統一してもら</p>

	<p>等、今後の評価方法を精査していきます。</p>
会長	<p>評価の時点で連携するのではなく、企画の時点で連携できていたら良いですね。</p>
事務局	<p>今まで単独で取組んできた等の理由により、うまく連携できていない取組みもあるのが市全体の現状です。今回いただいた貴重な御意見を参考に、連携が必要な取組みについては事前に調整するよう進めていきます。</p>
会長	<p>計画のなかで、一つの取組みに対して複数課が担当するような項目は、計画で明記されていることを、庁内で連携する際の根拠として活用し、企画の段階から周知していく必要があると思います。</p>
委員	<p>評価が低かった取組については、今後の目標を具体的にしていかないと、いつまでも評価が良くなれないと思います。総合体育館はバリアフリー化が難しいということですが、計画的に取り組んでいただきたいです。</p>
事務局	<p>障害者差別解消法のなかでは、既存の施設についての改修等が困難な場合は、合理的配慮による対応を求められています。全てに対応することは難しいですが、「何か他にできることはないか」という知恵を絞りだすことも重要ですので、他課への働きかけ等含めて取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>～分野3「休養・こころの健康」について～</p>
会長	<p>No. 49の取組みについて、スクールソーシャルワーカーの方が、延べ315回も不登校児童・生徒の家庭訪問をするのは、他の自治体と比べても大変優れていると思います。</p>
委員	<p>自殺防止の取組みをしていて、何か効果は得られたのでしょうか。</p>
事務局	<p>数的な効果を判断することは難しいと思います。自殺を考えている人の支援をするゲートキーパーを養成することは、自殺予防につながると考えられるので、ゲートキーパー養成講座への参加者数</p>

<p>会長</p>	<p>を増やしていくことは評価の対象として判断して良いと思います。ただし、講座を実施した結果、どれだけ自殺者が減ったかは、評価の指標としては非常に難しいと思います。</p> <p>自殺予防で有名な取組みとして、足立区のと取組みが挙げられます。足立区では、まず現状を分析し、管内の企業や保健所と連携して改善したという実績があります。青梅市で取組んでいく場合も、まず市内の状況を分析することから始め、具体的な行動計画を作っていくことになると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>市としても分析は必要だと思います。また、先ほど申し上げたゲートキーパーのように、支援する人の育成も重要だと考えております。</p> <p>～分野4「喫煙・飲酒」について～</p> <p>(意見なし)</p> <p>～分野5「歯と口の健康」について～</p>
<p>委員</p>	<p>以前と比べると受診率が上がりません。歯科医師会としても、かかりつけ医を見つけていただく等の取組みをしているが、個人の関心が薄れていたり、親の考え方もあるので、なかなか踏み込んでいけない状況です。</p>
<p>会長</p>	<p>計画の中には挙がっていませんが、高齢者の口腔ケアも問題になっているので、市の取組みが重要になってくると思います。</p> <p>～分野6「生活習慣病予防・健康管理」について～</p>
<p>会長</p>	<p>住民同士の活動の場を作るという国の方針のもと、介護保険の枠組みが大きく変わってきましたが、青梅市としての事業展開はどのように変わるでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>青梅市としては、新しい総合事業を平成29年4月から実施する予定です。国の指針では様々な事業が示されているので、今後の動</p>

	<p>向で拡充する等の充実を図っていきます。</p>
会長	<p>分野2におけるロコモティブシンドローム予防も介護予防として関係してくると思います。部署は違うと思いますが、壮年期からの健康づくりが介護予防につながると考えられますので、連携して取り組んでいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>本計画でも、ライフステージごとの取組みを掲げており、医師会にも御協力いただきながら、寝たきりにならないような施策を進めているところです。</p>
会長	<p>特定健康診査と特定保健指導の受診率はいかがですか。</p>
委員	<p>青梅市は西多摩地域内では比較的受診率が高いですが、東京都内で見るとまだまだ低い水準です。健康に対する個人の関心度が関係していると考えられます。</p>
会長	<p>健診の受診行動の関連誘因として最も多いのが「知っているかどうか」によると言われています。まずは健診の具体的な内容を知ってもらうことが重要です。</p>
委員	<p>周知活動はしていますか。</p>
事務局	<p>広報等で周知しております。今年度はがん検診の受診方法を変更し、利便性の向上を図る等の取組みをしておりますが、その都度周知するようにしております。</p>
会長	<p>特定保健指導についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>特定健診を受診する方のほとんどが、特定保健指導を希望していないように感じます。</p>
事務局	<p>他の検診と同様に、検診に対する個人の意識を向上させる必要があります。そのためには、まず普及啓発を充実させることが重要だと思っております。</p>

委員	<p>特定保健指導を受けた方の、その後の状態はいかがですか。</p>
事務局	<p>受けていない方と比べると血圧等が良くなっている方が多いです。ただ、特定保健指導を受ける方自体が少ないので、いかに受けていただくかが課題となっております。</p>
会長	<p>個人の努力による部分も大きいですが、環境作りもしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>全国的に高齢社会となっており、家庭で介護をされている方も多いと思いますが、この計画には高齢介護課の担当している取組みが少ないように感じます。</p>
事務局	<p>本計画は、「第6次青梅市総合長期計画」の部門計画として策定しており、高齢介護課等の他部署においても計画を策定しておりますので、高齢者を対象にした計画のなかで重点的に取組みを実施しております。</p>
委員	<p>No. 34 のところで、自治会館等を使用して介護予防リーダーの養成講座を実施しているとあります。自治会としても、参加している人数が増えてきていると聞いており、とてもありがたく思っております。</p>
会長	<p>町会のなかで地域のケアができる仕組みをどう作っていくかは、自治体の大きな課題になっていると思います。自治会館を使用して活動することはとても有効なので、自治体としての環境づくりを進めてもらいたいです。</p> <p>続いて、「青梅市健康増進計画の分野3（休養・こころの健康）について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>●資料5による説明</p>
会長	<p>自殺対策については、他部署と連携して包括的に取り組まなければなりません。</p>

事務局	自殺の大きな要因としては「鬱」が挙げられますが、「鬱」になるまでに様々な段階があるので、早い段階で見つけることによって自殺を未然に防ぐことを重点に置いて計画作りを進めなければならないと考えています。
委員	青梅市での自殺件数は多いでしょうか。また、それは市外から来た人も含めた数値でしょうか。
委員	青梅に居住されている方を基準としたデータを見ると、5年間で189件となっており、件数としては多いです。
委員	過去からの経過や年齢別の内訳もわかれば教えてください。
委員	保健所にデータがあるので、次回以降の会議で議題になった段階で提供させていただきます。
会長	計画を作るとなると、ご提供いただいたデータを活用しながら委員の皆様にも議論していただきつつ、教育部門等の多くの関連部署との連携が必要となってきます。
事務局	青梅市においては橋りょうから命を絶たれる方が多いと問題になっておりまして、看板設置する等対策を取っていきます。ただ、橋りょうのことだけではありませんので、この会議の中で皆様からご助言をいただきながら自殺対策に取り組んでいきたいと考えております。
会長	続いて、「青梅市健康増進計画に関する今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。
事務局	●追加資料②による説明
会長	続いて、「その他」について何かございますか。
事務局	他にないようですので、本日の健康増進計画推進会議を終了します。ありがとうございました。 終了

